

16. 膀胱がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日					各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	状況	手術		化学療法	膀胱内注入療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
				開腹手術	経尿道的手術						治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 泌尿器科	3	3	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	表在性膀胱がんは経尿道的切除術が原則ですが、浸潤性膀胱がんに対しては根治性最優先のため開腹による膀胱全摘を第一選択としております。自然排尿型尿路再建術も行い、QOL向上を目指しています。術前、術後の局所制御や転移巣治療を目的とした多剤併用抗癌剤治療も積極的に行っています。	ア 高槻赤十字病院 泌尿器科 対象疾患 http:// イ 高槻赤十字病院 がんに係る診療機能および治療内容(部位別)について http://www.takatsuki.jrc.or.jp/branch/cancer_support.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2			状況 実績							ア http:// イ http://			
3			状況 実績							ア http:// イ http://			
4			状況 実績							ア http:// イ http://			
5			状況 実績							ア http:// イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 膀胱がん 膀胱がん
------------------------------------	-----------------